

行政課題解決に向けた スタートアップとの連携について

経済産業省 新規事業創造推進室

令和5年4月20日

スタートアップの定義

- スタートアップは、社会課題を成長のエンジンに転換して、持続的な経済成長を実現する、まさに「新しい資本主義」の考え方を体現する新たなプレーヤーとして注目されている。
- 政府では2022年11月に「スタートアップ育成5か年計画」を策定し、スタートアップ支援の強化を図っている。

スタートアップの定義

1

新しい技術の活用、
斬新なサービスなど
新規性がある

2

加速度的に
事業を拡大することを
目指す

3

創業から間もない、
比較的創業年数の
若い企業

スタートアップの特長と課題

特長と課題

- ① 小さい組織が多く、機動的・柔軟的に対応できる
- ② 新しい技術・サービスの市場への導入を促進する
- ③ 地域で生まれる様々な課題に、スピード感を持って対応できる
- ④ 経営の安定性は社歴のある企業と比べると劣る面がある
- ⑤ 営業力が不十分な場合やペーパーワークへの対応が苦手な場合がある



スタートアップの特徴を理解して連携することによって
新たな行政サービスの展開、事業の効率化、
社会課題の解決を図ることができます。

スタートアップと連携するメリット

自治体・国の機関 の政策目標

- ① 行政サービスの向上
社会・地域課題の解決
- ② 企業誘致
- ③ 地域活性化、起業家育成



市民への効果

以下のサービスを活用できる

- ① ニーズに対応する
新しい技術・サービス
- ② 便利で、コストが低い
- ③ 今までにない質の高さ



自治体・ 国の機関内の効果

- ① 今まで出来なかった
新事業の実施
- ② コスト削減
人員の効率的配置
- ③ スピード・
コミュニケーションの向上



スタートアップの選び方・見るべきポイント

01

サービスの内容と質 地域との親和性

サービスやプロダクトのほか、
サポート体制も信用できる要素となる

04

コミュニケーション のスムーズさ

手続きや日々のやり取りを迅速
に行えるかも重要

02

経営チーム 社長とそのビジョン

中長期的な想いを共有し、
連携できるかが重要

05

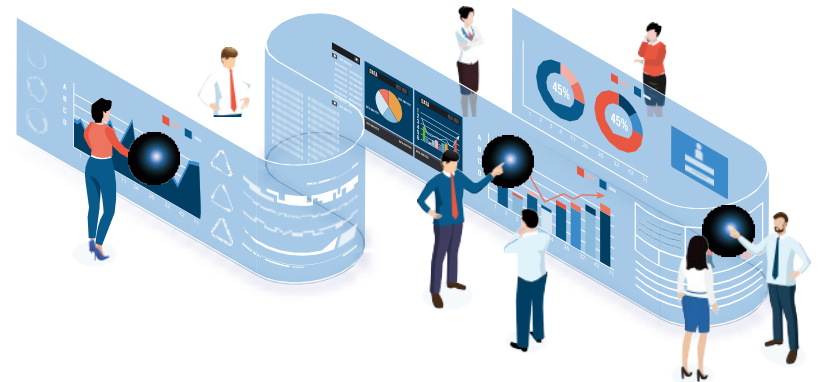
他自治体との実績、 公的支援の活用、表彰の状況

他自治体との連携実績があるかを
要件にすることもある

03

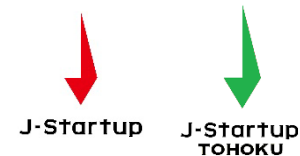
資金調達・出資者 従業員の状況

資金調達や、採用などが進んでいるかチェック



行政との連携実績のある スタートアップ事例

株式会社ヘラルボニー



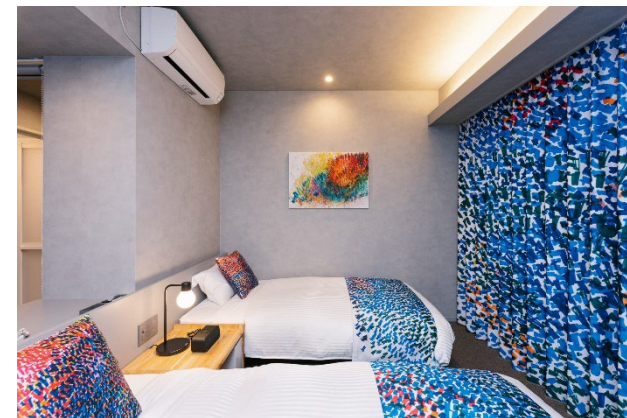
福祉を起点に新たな文化を創出する、福祉実験ユニット

- ・国内外の主に知的障害のある作家とライセンス契約を結び、2,000点以上のアートデータを軸に、「プレミアムグッズ」「空間装飾・デザイン」「ライセンス利用」福祉領域の拡張を見据えた多様な事業を展開。
- ・地域ごとの障害のある作家が描くアート作品を、地域限定のノベルティ等のプレミアムグッズの企画～製造～納品までプロデュース。障害のある方と自然な接点を地域で持つことと、発注金額の一部が障害のある作家に支払われる仕組みを構築。
- ・工事現場の仮囲いがアートで彩られることで、地元からもより愛される現場へ。



【仮囲いアートミュージアム】

岩手県陸前高田市在住の作家と、同市の友好都市のシンガポール在住作家が描くアート作品を工事現場の仮囲いへ共同展示する仮囲いアートミュージアムを実施。その他に、京都府京都市、石川県金沢市と連携実績あり。



【アートホテル】

岩手県盛岡市のライフスタイルホテルにて、全34客室のうち8部屋を岩手県在住の8名の作家が個々に客室を彩る。また、同ホテルでは宿泊料金の一部が地域の作家や福祉施設に還元される仕組みを導入。

中高生向け 自学自習型プログラミング EdTech教材を提供

- ・中高生向けプログラミング教育・イノベーション教育のトップランナーとしてさまざまな学びの機会・インフラを提供。
全国500以上の自治体2650校の公立・私立学校、約50万人が利用するEdtech教材「ライフイズテックレッスン」を導入。
- ・AIキャラクターのガイドに沿って、一人ひとりの理解度に合わせて学ぶことができ、テキストコーディングによる実際のプロダクト／サービス開発の体験を通じて、「問題解決能力」を養う。
- ・中学「技術科」、高校「情報 I」の学習指導要領に対応しており、教員の授業準備・進行・評価のサポート機能／サービスも提供。

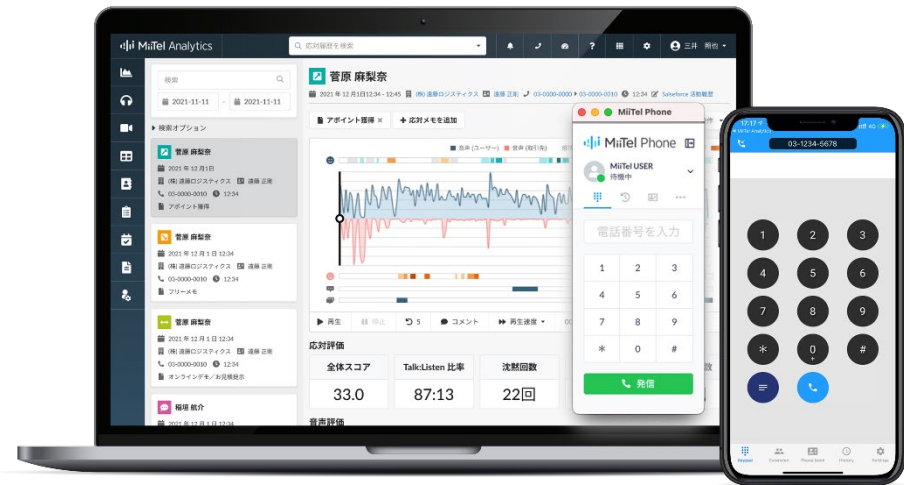


【東京都島しょ部（八丈町・三宅村）】

中学校にて導入し、技術科で学んだスキルを郷土学習で活用。
地域の魅力を探究し、Webサイトとして発信する地域課題解決型学習を実施。

音声解析によるスマートなコミュニケーションを実現

- ・「コミュニケーションを再発明し、人が人を想う社会を創る」を理念に、電話業務を可視化する音声解析AI電話「MiiTel」、オンライン商談ツール「MiiTelLive」、「MiiTel for Zoom」を開発・提供。
- ・電話対応業務における効率化、情報の引き継ぎ、架電数に関する課題に対して、音声解析により、市民と担当者との会話内容のブラックボックス問題を解消。
- ・医療分野においても、電話業務の効率化、迅速な患者の療養支援に向けサポートを実施。



【東京都】

新型コロナウイルス感染症の陽性患者に対して行う積極的疫学調査や健康観察等の電話業務の効率化を図るため、すべての都保健所へ音声解析AI電話「MiiTel」を導入。